

国指定天然記念物 / 環境省レッドリスト・絶滅危惧II種

カンムリウミスズメ

ガイドブック



カンムリウミスズメの危機

タンカー事故などで大量の油が流出し、それが体に付着し命を落としたり、人間が残したゴミや撒き餌などでカラスやネズミなどの新たな敵が増え、卵やヒナが食べられるといった被害が出ています。

このほかにも漁網に誤ってかかり死んでしまうという問題もあります。

今、地球上にわずか 5,000 羽ほどしかいないカンムリウミスズメ。人間が原因で絶滅させてしまうことは避けなければなりません。

神津島観光協会ではカンムリウミスズメをモチーフにした、ご当地キャラクター「かんむりん」を製作し、カンムリウミスズメの保護活動に取り組んでおります。

参考文献 日本野鳥の会ホームページ



特定非営利活動法人
神津島観光協会
<http://kouzushima.org>



特定非営利活動法人
神津島観光協会
<http://kouzushima.org>

〒100-0601
東京都神津島村 37-2 まっちゃんれセンター内
TEL : 04992-8-0321 FAX : 04992-8-0323
MAIL : office@kouzushima.org

公益財団法人東京観光財団の地域振興助成事業により構築しています。

カンムリウミスズメってどんな鳥？

全長約 24cm の小さな海鳥、カンムリウミスズメは黒と白のツートンカラーで、ペンギンを小さくしたようなフォルムがかわいらしく、頭にはトレードマークのかんむり状の羽飾り（かんむり羽）がついています。世界中でもわずか 5,000 羽のみの生息が確認され、その多くが伊豆諸島近海に生息し、神津島の周辺では祇苗島（ただなえじま）と恩馳島（おんばせじま）で観測されています。また、国の天然記念物ならびに絶滅危惧種に指定されています。

頭についている冠のような羽飾りがトレードマーク。

翼が短く、体が重いので空を飛ぶことはあまり得意ではない。

ペンギンを小さくしたようなずんぐりした体型。

子育ての時だけ陸に上がり、生涯の大半を海で過ごします。

一度結婚するとその相手と添い遂げます。



小魚が大好物。水中を飛ぶように泳いで魚たちを捕まえる「素潜り名人」。



海では、自慢の足ひれを使って荒波もスイスイ。波乗り名人でもあります。

新島・神津島・三宅島の三角海域

調査の結果、新島・神津島・三宅島を結ぶ三角海域に多く分布していることがわかりました。理由としては、この三角海域の水深が周囲に比べ浅く、エサとなる小魚などの多い「潮目」が出来やすいためだと考えられています。

